

# 6m QRP DSB トランシーバー (Pocket6DSB2011)

～ ちょっとした旅行のお供に～

## はじめに

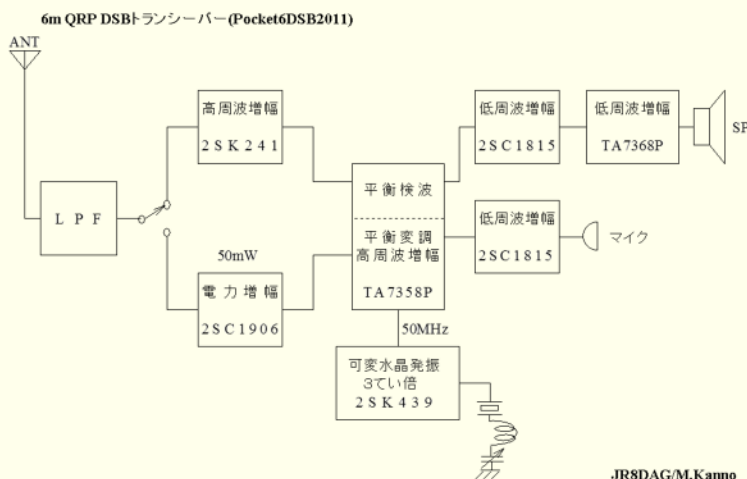
本作品は移動運用のお供に持参することを考えて製作した50MHz QRP DSB トランシーバーです。周波数はEs交信が楽しめる50MHz、電波型式はSSB局と交信できるDSB(抑圧搬送波両測波帯)、送信出力はQRP運用が楽しめる50mWです。SSB局と交信できるポケットに入る大きさのトランシーバーは自作例も少ないことから製作しました。

本作品の名称は2011年に製作したポケットに入る6m DSBトランシーバーということで、「**Pocket6DSB2011**」としました。

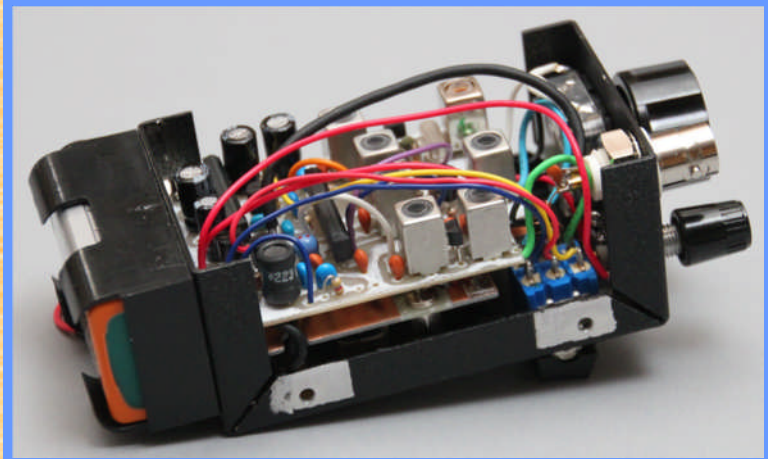
## 本作品の特徴および概要

- (1) ポケットに入る大きさの6m QRP DSBトランシーバー。大きさは100mm×50mm×35mm（突起物のぞく）重量は006P型ニッケル水素電池込みで200(g)で**ちょっとした旅行にも持参可能**。
- (2) 大きさをポケットサイズにするために、検波と変調と1つのICで共通化して部品点数を減らすなどの工夫を実施（系統図参照）。
- (3) 電波形式は**SSBと交信ができるDSB(抑圧搬送波両測波帯)**。受信はシンプルなダイレクトコンバージョン方式、送信は平衡変調で出力50mW。周波数可変トランシーブトランシーバーであり、50.150～50.240MHzを運用可能。
- (4) 電源は006P型ニッケル水素電池を外付けし、電池交換を容易して移動運用での使い勝手を向上。
- (5) 基板、電源・ボリューム、送受切換スイッチ、マイク、スピーカなど各インターフェースの実装にあたっては、スペーサーを利用して立体的に配置をするなどの工夫を行い（写真参照）、メンテナンスを容易に実施可能。
- (6) 2011年6月5日現在で**2～4,6,8エリアの10局とQSO**を行い、運用面での**実用性**を確認。

## 本作品の系統図



## 内部の様子



## 使用感など

受信は感度、選択度、安定度などの基本性能はメーカー機より落ちますが、50MHzのQRP運用を楽しめる性能はあり、ポケットに入る大きさで手軽に移動運用できる機動性の高さが本作品の最大のメリットであると思っています。今後は、本作品をあちこちに持参して運用を楽しみたいと思っています。



JR8DAG / 菅野 正人